

5. 15 沖縄平和行進参加報告書

東北地方塩竈支部三陸分会 副部長 佐藤 新

5月12日から15日の4日間、沖縄平和行進に参加しました。

1日目は三単産結団式と平和学習会が行われました。三単産結団式では全国から集まった参加者が沖縄平和行進への決意表明をしました。皆それぞれの気持ちを抱いていて自分自身も本気でこの活動に取り組もうと決心できる場面でもありました。その後の平和学習会では、講師の古謝厚雄さんが戦争時に沖縄で何があったのか説明してくれました。内容は沖縄と米軍の関係について、また沖縄に核ミサイルを配備していた事などの話で沖縄の事を何も知らない私からしたらその内容が衝撃的であり、自分がいかに無知であったかを沖縄に来て数時間で思い知らされました。この事を教えてくださった古謝厚雄さんにとっても感謝しています。

2日目の活動はひめゆり資料館と旧海軍司令部豪の2箇所の視察でした。ひめゆり資料館では戦争時の沖縄で実際に起こったひめゆり学徒隊の苦労と必死に生きようとする思いを知る事ができる場所でした。怪我をした日本兵の介護や食事などといったお世話をほとんど休憩なしでする生活や、急に解散を告げられどうしていいかわからず生きるのを諦め自殺する人もいれば外で米軍に殺される人もいて、そんな中生き残った人達の悲しみや苦しみの色んな気持ちを持ったひめゆり学徒隊の思いが私自身にも伝わり、とても心に響きました。この事実は一生忘れたくないと思った場所でした。

次に向かった旧海軍司令部豪では、戦争の貴重な歴史を見ることができました。戦争当時の海軍司令部基地の壕がほぼそのまま残されていて強く印象に残りました。

午後からは5. 15平和行進全国結団式の会場へ向かいそこでは3年ぶりということもあり全国から約1000人の人達が参加していました。一人一人が次の日の平和行進に全力で挑もうと決意を固められた瞬間があり良い開会式になりました。

14日の平和行進は、朝8時半に出発式を行ったあと9時頃に宜野湾市民会館から出発しました。道のりは約9kmを皆で歩きながらシュプレヒコールをあげ続け、沖縄の人達の思いを背負いながら行進できました。途中右翼の妨害もありましたが、その反対で応援してくれる市民の方々もいてとても勇気をもらいました。目的地の沖縄市八重島公園に着いた時は皆疲れながらもやり遂げた気持ちが強くでていました。

1日だけの行進でしたが歩く価値があったと私は言えます。平和行進が無事に終わり、そのままバス移動で嘉手納道の駅へ行き、そこでは遠くから嘉手納基地を見ることができました。基地問題の1つである嘉手納基地は想像以上に広く大きかったです。次に約20機のオスプレイが配備されている普天間基地が一望できる、嘉数高台公園へ向かいました。嘉数高台公園の周辺では戦争時多くの人達が亡くなったそうです。公園という響きとは逆でとても悲しい事が起きた場所だったんだと感じました。

活動最終日の15日は沖縄本土復帰50年県民大会に参加しここでは前日の平和行進の閉会式も同時に行われ「もう終わってしまうのか」と少し物足りなさを感じました。ですが、この会場にいる人達と一緒に行進が出来て本当に良かったと思いました。午後から最後の視察に、名護市塩川港に行きました。辺野古新基地建設に伴う埋め立て工事に使用する土砂の搬出を行う場所でした。基地をなくそうとしている沖縄県民の方々からすれば大きな問題なのではないかと思います。埋め立て工事により、沖縄の海や森林の自然にも被害がでてしまう状態だと思いました。

沖縄平和行進の活動が終わり、一人一人が活動してみたの感想を話しましたが、やはり皆同じ気持ちで沖縄の問題を深く受け止めていることが分かり、この4日間で深い絆ができたのではないかと思います。今回初めての参加で来た沖縄平和行進でしたが、参加してみても心から良かったと思います。沖縄の歴史や問題、沖縄県民の思いなど多くの事を感じ学ぶことが出来ました。来年も全港湾の仲間達と行進したいです。